

令和5年度

福祉映画会

チョコレートな人々

“人生はチョコレートの箱のようなもの。開けてみなくちゃわからない”
これは、映画『フォレスト・ガンプ/一期一会』の名台詞。

“本当に必要なのは愛だけど、たまにはチョコも悪くない”

こちらは、漫画『ピーナッツ』のちよっと意地悪な女の子、ルーシーの言葉。

この映画は、人生とチョコレートにまつわる、
甘くて、苦くて、カラフルなドキュメンタリーです。



「温めれば、何度だって、やり直せる」夢のような力 私たちのチョコレート工場へようこそ！

愛知県豊橋市の街角にある「久遠チョコレート」。世界各地のカカオと、生産者の顔が見えるこだわりのフレーバー。品のよい甘さと彩り豊かなデザインで、たちまち多くのファンができました。その人気は日本中に広がり、いまではショップやラボなど全国に52の拠点をもち、華やかなデパートのイベントの常連になっています。「久遠チョコレート」は、ほかのブランドとは一味違って。代表の夏目浩次さんたちスタッフは、かれらが作るチョコレートのように、考え方がユニークでカラフル。心や体に障がいがある人、シングルペアレントや不登校経験者、セクシュアルマイノリティなど多様な人たちが働きやすく、しっかり稼ぐことができる職場づくりを続けてきました。

はじめは2003年、26歳の夏目さんが3人のスタッフとはじめた小さなパン屋さん。その後、いくつもの事業を展開してきた夏目さんですが、トップショコラティエの野口和男さんとの出会いが大きな転機になります。「チョコレートは失敗しても温めれば、作り直すことができる」。しかもチョコレートはアイデア次第で付加価値が高まる魔法の食材。多様な人々を受け入れる夢の扉が見えました。こうして、新しく優しいチョコレートブランドの凸凹な物語がはじまりました。

『人生フルーツ』の 東海テレビドキュメンタリー劇場最新作 2021年日本民間放送連盟賞テレビ部門 グランプリ受賞作がついに映画化!!

福祉と経済、生きがいと生産性、さまざまな人と共に働くよこびと、その難しさ……理想を追い求めるチョコレートブランドの山あり谷あり、きれいなだけじゃない19年を描く、東海テレビドキュメンタリー劇場第14弾。どうぞご期待ください。



www.tokaidoc.com/choco

[@tokaidocmovie](https://twitter.com/tokaidocmovie)

[fb.com/tokaidoc.movie](https://www.facebook.com/tokaidoc.movie)



© 東海テレビ放送

と き 令和5年 12月22日(金) 13時30分上映開始(12時45分開場)

ところ 瑞浪市総合文化センター 文化ホール **入場無料**

上映時間
102分

整理券は令和5年11月20日(月)から市民福祉センターハートピア及び総合文化センターにて配布します。

整理券が
必要です

先着300名まで

〈問い合わせ先〉主催/社会福祉法人 瑞浪市社会福祉協議会 瑞浪市樽上町1丁目77番地 TEL 0572-68-4148